

令和7年度 指定管理者評価結果票

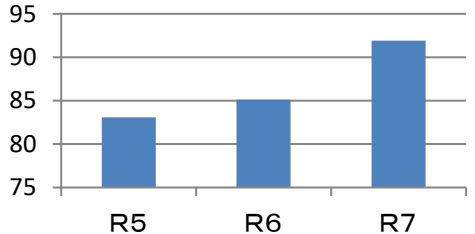
所 管 課	健康福祉部 障害福祉課
評価対象期間	R7.4.1 ~ R8.3.31

1 基本情報

施 設 概 要	名 称	岐阜県福祉友愛アリーナ
	所 在 地	岐阜市則武1816-1
指 定 管 理 者	名 称	一般社団法人岐阜県障害者スポーツ協会
	構 成 員	—
	所 在 地	岐阜市下奈良2丁目2番1号
	指定期間	R3.4.1 ~ R8.3.31
指 定 管 理 業 務 の 内 容		・アリーナの使用の許可等に関すること。 ・アリーナを活用した障がい者のスポーツ活動の指導及び普及に関すること。 ・アリーナの維持管理に関すること。 ・アリーナ利用者への便宜の供与に関すること。 ・アリーナ利用の促進に関すること。

2 利用状況を把握するための指標

指標	稼働率 (単位: %)
R5	83.1
R6	85.1
R7	91.9



R5	83.1
R6	85.1
R7	91.9

3 令和7年度の収支状況

(単位: 千円)

収 入 計	47,542
利 用 料 金	517
指定管理料	46,925
そ の 他	100
支 出 計	47,189
人 件 費	21,871
施設管理費	22,622
そ の 他	2,696
差 引	353
納 付 金	0

4 前年度の評価員会議の主な意見及び対応

前年度の評価員会議の主な意見	対応状況
・色々な障害者施設へのPRを積極的に実施する。	・HPにアップすることはもちろん、当施設を利用される福祉施設等には、イベント等の案内を直接手渡し、広報を図った。
・「地域交流イベント」への参加者の拡大を図る。	・地域自治会(3自治会)の回覧に混ぜていただくことで、地域の参加者の増加に繋がった。

5 評価員会議による評価結果

評価項目	評価点 (平均点)	評価員の主な意見
管理基準の充足状況	4.0	・管理基準の適正な実施に加え、絶えずそれを上回る日々の努力、そして利用者の声を施設運営に反映させている。 ・利用者ニーズを踏まえた器具等の設備購入、情報発信など改善が図られており評価できる。 ・利用者アンケート、利用者の声BOXについて、紙ベースに加えて、スマートフォンを利用したQRコードによる方法も加えると良い。
設置目的の達成状況	4.6	・2階フロア、STT室の稼働率については目標を達成したうえで対前年を上回る結果となっている。 ・企画事業において、新たな種目のスポーツ教室の実施、競技別練習会等、積極的に取組が行われている。年々利用団体、利用者が増加しており、十分に評価ができる。
公共性の確保の状況	4.0	・地域交流の為の利用がなされている。 ・障がい者スポーツの相談支援として、地域、各市町団体、障がいサービス事業所など幅広い支援が行われ、誘客助成事業においても、遠隔地の利用を可能とするための助成が行われており、評価ができる。 ・事故、転倒、てんかん等の持病等の対応事例集があると良い。
経営状況	3.8	・各種企画事業、自主事業の効果により、利用団体及び利用者増が見られ、利用料金収入の増につながっており、評価できる。 ・燃料費高騰に伴う光熱費の増大が著しい中、様々な節減努力がされており、評価ができる。 ・令和6年度は補助金があったが、今後ネットで寄附等の公募はできないか。
派生的効果	4.2	・全国規模の代表選手強化合宿や練習会を行うとともに体験会を実施するなど競技力向上及び裾野拡大に努めている。 ・地域交流イベントの開催、障がいのあるなしに関わらず参加可能なスポーツ教室や大会が開催されており、多数の参加者があり、評価できる。 ・自主事業の様子について、ホームページなどで公開、情報発信をしていくと良い。

＜評価基準＞

5	協定書等に定める水準を上回る管理運営がなされており、かつ特筆すべき実績・成果を上げている
4	協定書等に定める水準を上回る管理運営がなされている
3	協定書等に基づき、適切な管理運営がなされている
2	協定書等に基づき、概ね適切な管理運営がなされているが、一部に更なる工夫や改善を要する
1	改善を要する

6 県による評価結果

最終評価	評価の考え方
S	・協定書に定めるサービス水準を満たし、適切に管理されている。 ・各種教室の積極的な開催等により障がい者スポーツの普及に努めている。 ・アリーナ利用促進の取組により、フロア、STT室の稼働率について目標を達成したうえで対前年を上回る結果となっている。

＜評価基準＞

S	優れた管理運営がなされており、かつ十分な実績・成果を上げている
A	優れた管理運営がなされている
B	適正な管理運営がなされている
C	改善を要する